

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2004 AUTUMN Vol.49

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE



ロゼの片隅

INTERVIEW

鮫島有美子

EVENT CALENDAR 2004

粋な大人時間

特集 東京サギまがし チケット発売
直前インタビュー

The 青少年サマーミュージカルスクールVol.4
舞台裏 「DREAM COME TRUE～我楽詫屋物語～」発表公演

Flash Back & Audience Voice

ピックアップアーティスト

INFORMATION FROM ROSE THEATRE

ロゼの素顔



鮫島

Interview

有美子

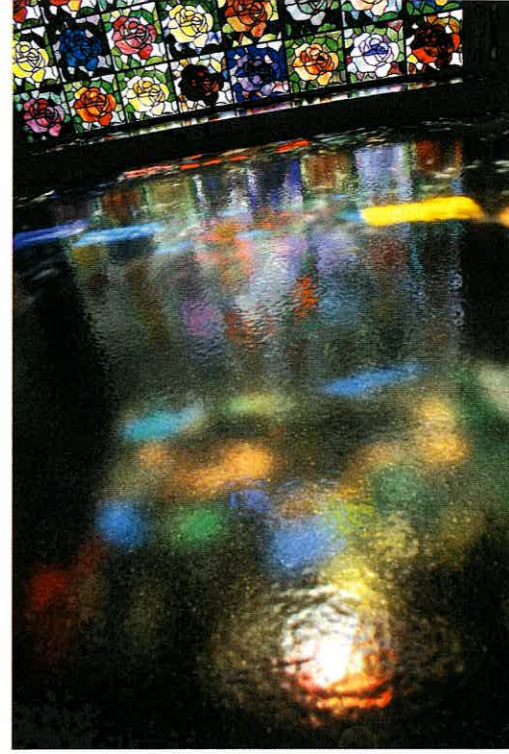
日本を代表するソプラノとして、国際的に活躍の鮫島有美子さん。ロゼシアターには一九九七年九月に、「リサイタル「あの頃のうた」」で登場。美しい歌声をご記憶の方も多しはず。その鮫島さんが再びロゼに。しかも今回は日本のオペラ史上最高傑作ともいわれる「夕鶴」のつうを歌います。鮫島さんが思いを込めるつうの姿、新演出となる「夕鶴」についての豊富なお話を伺いました。



ロゼの片隅

katasumi

#3 ステンドグラス (すてんどぐらす)



ROSE QUILT / 富士ガラスアカデミー寄贈

よく晴れた日の午前中、2階へ続く階段の踊り場で、ふと立ち止まる。ステンドグラスの透過光が、足元を照らしている。赤、青、緑、黄色…まるで無数に咲くバラの花から、花びらがこぼれおちたように。

太陽が、低く南へ傾くこれからの季節、朝のわずかな時間だけ、ロゼの片隅は、色彩と光に染まる。ささやかなライティングショーだ。

“ROSE QUILT”と名づけられたこのステンドグラス、市民が数年がかりで完成させた力作。粋な演出は、静かに、鮮やかに輝く。

Contents

- ロゼの片隅 #3 ステンドグラス(すてんどぐらす) 1
- INTERVIEW **鮫島有美子** 2
役の持っている台詞を、まず自分の気持ちの中で消化して...
- EVENT CALENDAR 2004 (10・11・12月自主事業公演日・チケット発売日)
● 情報先取り!今年も魅力あるイベント満載! 5
- 特集 **粋な大人時間** チケット発売直前インタビュー
東京サギまがい 7
- **The 舞台裏** **青少年サマーミュージカルスクールVol.4** 9
「DREAM COME TRUE～我楽陀屋物語～」発表公演
—— ちょびりホロッと、そして楽しく! ——
- **Flash Back & Audience Voice** 11
■ロゼシアター主催事業 2004年6月～8月 ◆ふじ寄席特別編 真夏の夜の恐怖と笑いの世界
- **ピックアップアーティスト** 12
◇彩山倍美(すぎやまますみ/ピアニスト)
◇自由空間劇場
- **INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE** 13
◆新進アーティスト作品展作品募集 ◆クラシネマコンサート
◆おかげさまで500万人
- **ロゼの素顔「和室」** 14
編集後記

つうの言葉、台詞を、いかに自分のものとして表現できるか、聴いてくださる方に感じていただけるように歌うかを考えます。



「ご自身としては、二〇〇〇年の新国立劇場以来の『夕鶴』となりますが、この日本を代表するオペラ作品について、お聞かせください。」

「鶴の恩返し」はみなさんご存知ですね。日本の民話として、とても親しまれていますし、内容的にも日本人の好む物語なのでしよう。「夕鶴」という作品は「鶴の恩返し」をもとに、木下順二先生が戯曲をお書きになったものを、後に團伊玖磨先生がオペラにされた。これほどまでに愛されるオペラとなりえたのも、ひとつには題材そのものよさがあつたのだと思いますが、七〇〇年の初演からすでに半世紀以上、七〇〇回も上演されている。それはオペラ作品として、いかに素晴らしいか、優れた作品かということを表していると思います。

これまで色々な方が歌ってこられたと思うのですが、オペラファンにとって、つう(この物語の主人公)は鮫島有美子というイメージは強くなるのでは？

どうでしょう？そういつていただけるのは、もちろんうれしいですけど(笑)たまたまあるとすれば、私は幸いにもつうを歌う機会をたくさんいただいたですね。日本のオ

ペラ公演というのは、なかなか連続して上演することがないので、そういう機会に恵まれたことが、大きいと思うんです。そしてそれがCDやビデオになったりしたので、そういうことも私が歌ったつうを印象強くしているのかもしれない。

つうを演じるとき、どんな思いで歌うのですか？

オペラを歌うのは、お芝居の役者さんと同じで、やはりその時演じる役に入り込んでいくのです。ですから役の持つている台詞を、まず自分の気持ちの中で消化して、自分の言葉として伝えていく。もちろんこれはオペラばかりでなく歌曲の場合も、言葉、情景描写などを含めて言葉があるわけですから、同じようなことは言えます。ただ今回の「夕鶴」などは、これはもう全部台詞ですね。ですからつうの言葉、台詞を、いかに自分のものとして表現できるか、聴いてくださる方に感じていただけるように歌うかを考えます。

團伊玖磨先生が「夕鶴」を作曲なさる時に、木下先生から「台詞を切変えないように」という条件があつたそうです。ですから、この作品の台詞三言二言というのは、私たち歌い手にとつてももちろんですが、木下先生、團伊玖磨先生にとつても、とても特別な意味があつたのだと思います。

團伊玖磨先生は、どんな先生でしたか？

とてもお優しい先生でしたし、やはり「夕鶴」をたいへん愛していらつしました。私は、つうをほとんど團伊玖磨先生の指揮で歌わせていただいたのですが、先生は、とり

お客様が作品を見終わつたときに、与ひょうの気持ちと同化していただけたらと思ひます。



今回の「夕鶴」で共演なさる皆さんについてお聞かせください。

指揮者の現田茂夫さんとは、以前一度オペラではなくコンサートで一緒したことがあります。ですからこういう形では、実は今回が初めてになります。とても歌がお好きな方ですし、すばらしい指揮者です。ほかの共演する皆さんは、もうそれぞれ気心の通じる仲間という感じです。中でも与ひょうの持本さんは、大学の同級生なんです。が、会えばいつも「いつか一緒にやりたいね」と話していたので、ようやく実現するので、とても楽しみにしています。

この作品の中で、ひとつあげるとしたら、何が一番聴いてほしい、感じてほしいですか？

私がお客様が作品を見終わつたときに、与ひょうの気持ちと同化していただけたらと思います。つうは最後に与ひょうのものを去ります。この時の与ひょうの悲しみ、失ってしまったもの、空虚感、そんな思いをお客様に届ける手助けを私(つう)ができたらいと思つたのです。つうは、悲しくはないのです。いえ、もちろん悲しいことは悲しいの

わけつうという役に思い入れが深く、歌ばかりでなくて、衣装やお化粧にまで、ずいぶんこだわりがありました。舞台稽古やネプロの時に、私を見て「あー、それじゃダメー」「もっとキレイに！」なんて。時には私の楽屋までメイクのチェックにいらつしやることもあつたくらい(笑)先生自身の中で、絶対的に美しい存在でいてほしかったようなんです。ただ先生は、よく気分が乗つて指揮をなさる時は、テンポが伸びるので、歌手にとつて、あまりゆつたりなテンポというのは、なかなか辛いんです。ですから終わった後は、楽屋で皆グッタリしてたり。(笑)でも先生はそんなことはお構いなしに「今日は、とても良かったよ！」と上機嫌でお帰りになつてゆく(笑)そんな楽しい思い出もあります。

です。ただ与ひょうと同じ世界に留まることもできるのに、それでもなお自分の意思で彼のもとを去ることを決意する。そんなつうの心の動き。そして一人残されてしまふ与ひょう。失つてしまったものが、どんなにかけがえないものだったのか…。そこにこの作品のひとつのテーマがあるのです。それらを含めて、富士のお客様にこの「夕鶴」という作品のすばらしさを、お届けすることができたらうれしいです。私も今から楽しみにしています。

忙しいスケジュールの間をぬって取材にに応じてくださった鮫島さん。ひとつひとつの質問に、言葉を選びながら熱心に答えてくださった姿が印象的でした。インタビューの中にもあるように、「言葉」「伝える」ということをとても大事になさっている方であることが伺えました。

今回の公演は、ふつうのオペラと違いオペラもステージ上で演奏する新演出です。これについて鮫島さんは「限られた環境の中で、どう表現をしていくか。新しい挑戦でもあります」と、意欲をみせます。果たしてどんなステージになるのか？鮫島さん演じるつうは？二〇〇五年二月、注目の公演。期待が高まります。

【公演情報】

時代を越えて、美しい旋律と言葉が人の心を打つ「夕鶴」。日本オペラ史上燦然と輝くこの傑作が、数多くの輝かしい実績をおさめている演劇界の鬼才・栗山民也の演出により、これまでにない新しい「夕鶴」に生まれ変わります。

鮫島有美子の「夕鶴」
新演出(セミ・ステージ・オペラ)
2005年2月3日(木)
開場18:30 開演19:00
ロゼシアター 大ホール

【原作・脚本】 木下順二
【音楽】 團伊玖磨
【演出】 栗山民也

【出演】 つう：鮫島有美子
与ひょう：持本弘
運ず：牧野正人
惣ど：池田直樹

【指揮】 現田茂夫
【管弦楽】 神奈川フィルハーモニー 管弦楽団



持本弘



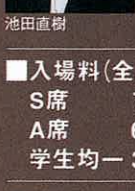
鮫島有美子



牧野正人



現田茂夫



池田直樹

■入場料(全席指定・税込)
S席 7,000円
A席 6,000円
学生均一 3,000円

■チケット発売日
ロゼ会員/10月9日(土)
一般/10月10日(日)

鮫島有美子
2005年 8月6日

EVENT CALENDAR 2004

12 DECEMBER

12/5 SUN ヤングふじ寄席⑤

小ホール
開場/13:30 開演/14:00
入場料(全席自由・税込)
均一/1,000円 3回セット券/2,700円
今年もやります「ヤングふじ寄席」
あの若手落語家4人がグレードアップして登場です。
チケット好評発売中

12/16 THU JIS企画「マダラ姫」

作・演出:竹内統一郎
出演:佐野史郎・小日向文世・加藤紀子・広岡由里子・石井愼一 他
中ホール
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
1階席/6,000円 2階席/5,000円
学生(2階席のみ)/2,500円
チケット好評発売中



それは、本格的謎解きミステリーとして幕をあける。海辺の別荘、消えた死体、目撃者、刑事…。しかし物語は鮮やかに反転し、見るものを迷宮へ誘い、思いもよらない結末をつきつける。

12/18 SAT サウンド・オブ・ジョイ クリスマスライブ

中ホール
開場/15:30 開演/16:00
入場料(全席自由・税込)均一 2,500円
チケット好評発売中

ア・カベラ(無伴奏)コーラスグループ「サウンド・オブ・ジョイ」と市民で結成された「ロゼ・コスベルクワイア」の共演でおくるXmas LIVE。



チケット発売日 クラシック+映画音楽=クラシネマ!コンサート

協力:富士クラシック協会

小ホール
公演日/2005年2月11日(金)
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席自由・税込)
1,000円(ドリンク券付)

「クラシック」と映画「シネマ」をかけたあわせた造語「クラシネマ」。クラシックと映画音楽をクロスオーバーさせた中から選曲されたプログラムをお楽しみ下さい。



■チケットのお求め・お問い合わせは
0545-60-2500
ロゼ・チケットセンター
(9:00~19:00)

■プレイガイド
【沼津地区】 ●マルサン書店沼津仲見世店 055-963-0350
【富士宮地区】 ●カワセ書店 富士宮 宮原店 0544-24-7160
●ユニオンテラス富士宮店 0544-24-6777(代)

※インターネットで公演情報がご覧いただけます。
ロゼシアターホームページアドレス: http://rose-theatre.jp
※学生席・団体割引・専椅子席は、ロゼ・チケットセンターへお問い合わせ下さい。
※未就学児をつれたの鑑賞はご遠慮下さい。
※託児サービス(2歳以上の未就学児)は公演の1週間前までに、電話で予約受付致します。(無料サービス)

11 NOVEMBER

11/1 MON ウィーン交響楽団

指揮:ヤコフ・クライツベルグ
ヴァイオリン:リディア・バイチ
大ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
S席/13,000円 A席/11,000円
B席/9,000円 学生均一/5,000円
チケット好評発売中

音楽の都の黄金の響き。ウィーン市民に最も愛されているオーケストラが奏でるベートーヴェン、メンデルスゾーン、ブラームス。伝統のハーモニーをお楽しみください。

11/6 SAT チケット発売日

会員(12:00~)

11/7 SUN 一般(9:00~)



11/7 SUN ヤングふじ寄席④

小ホール
開場/13:30 開演/14:00
入場料(全席自由・税込)
均一/1,000円 3回セット券/2,700円
チケット好評発売中

11/18 THU ベルリン弦楽四重奏団

小ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席自由・税込)
一般/3,800円(完売)
学生/2,000円(完売)

ベルリン国立歌劇場の楽士たちが伝えるドイツの響き。富士市のピアニスト杉山信美さんとの共演でお届けします。

11/20 SAT 美輪明宏音楽会「愛」

大ホール
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
S席/6,000円(完売) A席/5,000円
チケット好評発売中

妖しくも圧倒的な存在感で魅せる「美輪明宏」のシャンソンコンサートをお楽しみください。

プログラム:
ベートーヴェン/「コリオラン」序曲 作品62
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 赤短調 作品64
ブラームス/交響曲 第1番 作品68



ふじ寄席
「立川志の輔 新春独演会」

中ホール
公演日/2005年2月18日(金)
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
1階席/3,500円 2階席/2,500円

毎年恒例の「ふじ寄席」。今年は立川志の輔の登場です。

今年もやります「ヤングふじ寄席」
あの若手落語家4人がグレードアップして登場です。



プログラム:
モーツァルト/弦楽四重奏曲第17番 変ロ長調 K.458「狩り」
ハイドン/弦楽四重奏曲第77番 変長調 op.76-3「皇帝」
ブラームス/ピアノ五重奏 変短調 op.34(ピアノ 杉山信美)



11/20 SAT チケット発売日

会員(12:00~)

11/21 SUN 一般(9:00~)



11/27 SAT チケット発売日

会員・一般(9:00~)



ザ・ハーブ・コンサート

中ホール
公演日/2005年3月5日(土)
開場/18:00 開演/18:30
入場料(全席指定・税込)
1階席/4,000円 2階席/3,500円
学生均一/2,000円

ケルトの響きが響き渡る。アイリッシュダンスがケルトにいきなう。

ロバの音楽座 愉快的コンサート

小ホール
公演日/2005年3月21日(月)
1回目 開場/12:30 開演/13:00
2回目 開場/15:30 開演/16:00
入場料(全席自由・税込)/2,000円

こころあたま「音と遊びの世界」をこどもたちに…

10 OCTOBER

10/9 SAT チケット発売日

鮫島有美子の「夕鶴」新演出 セミ・ステージ・オペラ

原作・脚本:木下順二 音楽:團伊玖磨 演出:栗山民也
つう:鮫島有美子 与ひょう:持木 弘
運ず:牧野正人 惣ど:池田直樹
指揮:現田茂夫
管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団
大ホール
公演日/2005年2月3日(木)
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
S席/7,000円 A席/6,000円
学生均一/3,000円

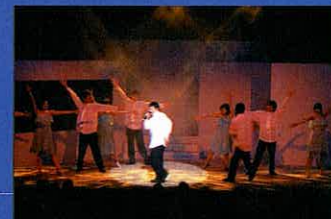
日本オペラ史上に残る最高傑作「夕鶴」が、最高のキャストそして新演出で登場です。



10/17 SUN チケット発売日

東京サギまがいロゼシアター第2回公演

脚本:ダンカン 音楽:グレート義太夫
演出:須間一彌・ダンカン
小ホール
公演日/2005年1月15日(土) 開場/18:30 開演/19:00
2005年1月16日(日) 開場/13:30 開演/14:00
入場料(全席自由・税込)
前売り/一般3,000円(学生/1,500円)
当日/一般3,500円



ロゼシアター第1回公演「テレビの時間」で、客席を笑いの渦に巻き込んだあの集団が、再び登場です。

10/22 FRI

伊勢正三プロデュース「ロゼフォークプラザ2004」

出演:伊勢正三・太田裕美・高田 渡・大野真澄(元GARO)
プログラム:22才の別れ、なごり雪、木綿のハンカチーフ、生活の柄、学生街の喫茶店 ※変更になる場合がございます。
大ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
S席/5,000円(完売)
A席/4,000円
チケット好評発売中
あの日、あの時に聞いた懐かしのメロディ。甦る青春時代を思い出してください。



10/26 TUE

アジアの風シリーズVI
中国発スペシャルチャイニーズアクロバット「DRAGON」

中ホール
開場/18:30 開演/19:00
入場料(全席指定・税込)
1階席/3,000円 2階席/2,000円 学生均一/1,000円
チケット好評発売中

京劇「西遊記」・川劇「白蛇伝」・そして中国雑技の美しいところを集めました。瞬時に顔が変わる「変面」は必見です。



東京サギまがい

チカキと殊形園下ノタカシ



グレート義太夫×須間一彌×麻田真夕

舞台以外のジャンルでも活躍の皆さんですが、「テレビ」「映画」「舞台」の3つの違いは何ですか？

義太夫 それはやっぱり生と録画の違いでしょうね。テレビだと失敗したらそこだけ撮り直せばいいだけで、舞台はそうもいかないですから。

須間 撮り直さうとした奴はいましたけどね。(笑)

麻田 すいません。

須間 テレビでNG出したときの「もう一回お願いします」みたいな勢いで。

確かに、やり直しが出来ないというのはありますね。でもステージ数も回とも回あると、お客さんの空気で全盛期のものにもなりますか？

須間 それもそうですし、舞台に出ている人間のノリや気持ちもありますね。やっぱり乗るときは良いものが出来ますね。

義太夫 うちはお客さんのノリで全然違うものになりますから。(笑)お客さんのノリが良くて、自分のギヤクがまれば、「笑う→良いのが出る→笑う→良いのが出る」というように相乗効果で凄く良くなるんです。

須間 他に違うのは、場面を飛ばさないということですね。

義太夫 テレビだったらCMが入って次にいくというように出来ませんが、舞台だと転換という実際の時間がかかっていますから難しいところですね。

須間 ドラマだったら、顔のアップについて、その瞬間に次のシーンに行っても見ていられるのですが、舞台だと繋がっていないという事になってしまうんですね。うちの芝居は繋がっていないんですけどね。

一同 (笑)

須間 だから、どちらかというとサギまがいの芝居はテレビドラマに近いですね。今年の1月にロゼシアターでやった「テレビの時間」は14回も場面転換していましたが、普通の芝居じゃ考えられないですよ。それに、うちは芝居だと言っておきながら前説がありますから。(笑)第一部「前説ショー」、第二部「芝居」、第三部「トークショー」です。

「テレビに近い」というのが、観客のハードを揺るがたいアンテナにもっとも見やすかった、面白かった、また観たい、というのが多かったですね。

須間 お芝居として捉えたときに、芝居で勝負できる奴が何人いるかっていうと、やっぱり生懸命やっている劇団には敵わないんですよ。だから、歌あり、踊りあり、ホロロと泣かせる部分もあり、それを組み合わせていくという感じが一番かなと思うんです。エンターテインメントという言い方をしたらおかしいですけど、究極のパラエティシオみたいな感じで。僕も義太夫さんもダンカンさんも底辺は「お笑い」なので、幅広い年齢層の人に受け入れられたんです。そして、劇場に入っただけでもぎった瞬間から何かが始まっているみたいな感じが欲しいですね。それから、東京サギまがいは「フレンドリーな劇団を目指していますので、ダンカンさんや義太夫さんがTシャツを売っています。(笑)

麻田 前回のロゼシアター公演は、東京の公演よりもお客さんの年齢層が広くて、年配の方から子供までいたんですけどみんな笑ってくれてすごく嬉しかったですね。

うちのお客さんは、全然違うのだから。お笑いも全然違うのだから。

究極のパラエティシオな感じを味わってみよう

東京サギまがい
ロゼシアター第2回公演

脚本:ダンカン 演出:須間一彌 音楽:グレート義太夫

2005.1/15 ● 開場18:30 開演19:00
1/16 ● 開場13:30 開演14:00

富士市文化会館ロゼシアター 小ホール
入場料(全席自由) 前売3,000円(学生1,500円)
当日3,500円

チケット発売日 会員・一般共通
2004.10/17 ● AM9:00~

チケットのお求め、お問い合わせはロゼ・チケットセンターへ
主催:財団法人富士市文化振興財団
後援:テレビ静岡

父が言ひ

東海大地震が起こるとウワサがありますが、サギまがい一團が富士山の噴火を止め、静岡の皆様をお守りにまいります!! byダンカン

須間一彌 (写真中) 3歳でコント初舞台。その後「ワース」を結成するも解散。独自の笑いのセンスでサギまがい作品の全ての演出を手掛ける。

グレート義太夫 (写真左) ご存知「たけし軍団」の一員。サギまがい作品の音楽を手掛ける。鶴川幸雄演説作品の舞台に出演するなど役者としても活躍中。

麻田真夕 (写真右) 富士市出身。映画・Vシネマを中心に活躍するが、他劇団への客演も精力的にこなす。昨年は大河ドラマ「武蔵」にも出演。



取材文:矢野世 撮影:飯野雄樹

青少年サマーミュージカルスクールVol.4

「DREAM COME TRUE～我楽詫屋物語～」発表公演

2004.7.31 SAT

The
舞台裏



ちよっぴりホロッと、
そして楽しく!!
古道具屋「我楽詫屋」を舞台に
繰り広げられる心温まる物語。
小学校4年生、高校3年生の
子供たちが送る
オムニバスミュージカル。



達成感、感動、そして……

サマーミュージカルスクールVol.4「DREAM COME TRUE～我楽詫屋物語」終演。緞帳が客席と舞台を二つに分ける。先ほどまで一体化していた空間は見事に仕切られた。客席では、観客が思い思いの時間を過ごす。家路に着くために席を立つ人、アンケートにペンを走らせる人、家族や友人と語り合う人……。しかし、舞台では全てのキャストが同じ思いで佇んでいた。達成感、感動、そして終演という虚脱感……。だが、みんな良い笑顔をしている。垣間見える涙も清々しい。観客を見送るためロビーに向かう後姿も、心なしか回り大きくなったように見える。そして、キャストが誰もいなくなった舞台の上には裏方スタッフだけが残っていた。

自分たちの手で作り上げた

市民のボランティアを中心に構成された裏方スタッフ。衣裳、小道具はもとより、大道具までも自分たちの手で作り上げた。その作業は、稽古日を中心に昼夜を問わず行われ、作業場では、自分の時間の空いた人、或いは自分の時間を割いてまで来てくれた人たちが作業に没頭する光景が見



られた。その日のうちに仕上げなければならぬものは、家に持ち帰り夜を徹して作業に取り組んだ。
そして作り終えた物を組み立て、完成された舞台装置を見た時、その作業に携わった一人一人の感慨は計り知れない。

準備してきた全てを見せる時

本番、上演時間約九十分。この九十分の為に準備してきた全てを見せる時である。演出部は暗がりの中で大道具の転換をし、小道具を配置し、ドライアイスで演出効果を高める。衣裳部は早替えの手伝いをし、最終チェックをしてステージに送り出す。きらびやかな照明の中で、キャスト達は演じ、踊り、歌う。舞台袖からはスタッフが見守っている。公演は大成りに終わった。

スタッフの努力があつてこそ

そして終演。緞帳で仕切られた舞台上で、裏方スタッフはただ黙々と撤収をはじめめる。それぞれのスタッフは何を想っているのだろう。全てが終わったという感動か？



これで普通の生活に戻れるという喜びか？
決して表舞台に立つことはない裏方スタッフ。そのスタッフの努力があつてこそその市民ミュージカルである……。感謝。
——後日、裏方スタッフより「また来年もやりたいので声をかけてください、そしてキャストからも「来年は裏方をやらせてください」との声が届いた。
(文/矢部哲也)



Flash Back

ロゼシアター主催事業
(6月~8月まで)

フラッシュバック

2004



HIROSHI PIANO
LIVE 2004

流石「ピアニスター」!ピアノを自由自在に操る指先は神業。会場のお客様からのリクエストによる即興のピアノドレーでは最高の盛り上がりを見せました。



6月26日 土

アジアの風シリーズV
インドネシア発スアール・アゲン

体の奥にまで響き渡る「バンブーオーケストラ」の音色は、会場を一種異様な世界へ導いていました。



7月29日 木

「ザ・タイタニックバンド」
イ・サロニスティコンサート

「タイタニック」をはじめ、耳馴染みのある映画音楽を集めたコンサート。映画のワンシーンが頭に浮かぶ素敵な時間を過ごしました。



6月11日 金

ふじ少年少女芸術劇場
小学生招待コンサート

●指揮:堤俊作 ●演奏:静岡交響楽団 指揮者を体験したり、オーケストラメンバーの間に入ってステージ上で演奏を聴いたり、普通のコンサートでは楽しめない内容で、クラシックが好きな児童も多かったのでは。



7月9日 金

子供のためのコンサート
(協力:富士クラシック協会)

どうぶつの名前が入った曲だけを集めたコンサート。0歳児も入場可能とした本公演は、急遽公演回数を追加するほどの大盛況でした。



8月5日 木

ふじ少年少女芸術劇場
中学生招待コンサート

●指揮:円光寺雅彦 ●演奏:新日本フィルハーモニー交響楽団 一流のオーケストラを招いての鑑賞教室。初めて体験する生徒たちは、生の演奏の迫力に圧倒されっぱなしでした。



6月23日 水

松竹大歌舞伎
四代目 尾上松緑 襲名披露公演

優雅さと華やかさで魅せる舞台はやはり圧巻。また、休憩中のロビーでは、歌舞伎グッズを求めらるお客様で大賑わいでした。



7月15日 木

公演当日に出演者から頂いたサインとステージ写真とそれぞれの公演に寄せられたアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。

Pick up artist

演奏家として、指導者として、「音楽」そして「今」を見つめる。

ピアニストになりたいと思ったのは、小学校6年生のとき。その夢が実現し現在、演奏家として、指導者として忙しい毎日を送る。「子供たちを教えることは、とても難しいけどすごくやりがいがあります。それに教えることが自分自身の演奏の新しい力になつている。教えているつもりが、実は教えられていたり(笑)」と、日々の奮闘ぶりを楽しそうに話す。加えて今は、11月のベルリン弦楽四重奏団とのコンサートに向けて練習に明け暮れる。演奏するのはブラームスのピアノ五重奏曲。ブラームスについて聞くと思いの丈が溢れ出す。「作品に触れたり、本を読んだりしていつも感じるのは、ものすごく真面目で自分に厳しい人だったというところ、そして弱い立場の人にとっても優しくかった。でも不器用。同時代を生きたり



ストに比べると華やかさではかなわない。様々な葛藤や苦悩と向き合い、のたうちまわりながら理想を求めていた。クララ・シューマンとの関係にしてもそう。自分の内側に秘めてしまう。音楽もそうなんです。寡黙さの中に優しさと激しさがあるというか、そんなところが好きです。私にとってネクラなのかし

Pick up artist

「寡黙さの中に優しさと激しさがある。そんなブラームスに惹かれる。」

杉山倍美 (すぎやますみ)ピアニスト

●11月の第6回公演「寿じじはばハウス」の「見所は？」

高齢者が集まる集合住宅が舞台になってるんですが、あえて介護のことや老いや病いの話題は省いて、「元気なお年寄り」を前面に押し出しています。人の世話になる必要もないけどどうやって生きていくのか、というところを上手く表現してみたいですね。今回は、現代の大衆演劇を目指して、親子の情を絡めながら笑わせて泣かす、という感じの娯楽に徹しています。今回は観ているお客様に単純に笑っていただけたらと思います。

●今後の目標は?

新しい脚本家、演出家という人材を育てたいですね。ひとつの劇団だと、演出家や役者が決まっているので、どうしても決められ



好評により11月18日ベルリン弦楽四重奏団演奏会のチケットは完売いたしました。

劇団の枠にこだわらない「若い芝居」

自由穴工間劇場

●自由空間劇場を立ち上げたきっかけは?

この近辺には富士演劇研究会や劇団富士芸という劇団があるんですが、その劇団の枠にこだわらない若い芝居をやりたいと、集ま

てやっつけてしまおうという感じで1997年に立ち上げたんです。プロデュース公演なので、2回で終わる予定だったんですが、またやりたいという声が多く

●自由空間劇場の活動内容は?

1年に1回のペースで公演をやっています。役者や裏方を育てるためには、それ位の期間が必要ですから。基本的には僕の脚本と演出でやっていますが、第4回公演の「プリーズド・ミュージック」みたいに、演出をやってみたいという人がいれば、人材的に信用できる人で、参加者の承諾が得られれば大歓迎という感じですね。

Pick up artist



第6回公演「寿じじはばハウス」

作・演出 立石光博
11月20日(土) 開演19:00 21日(日) 開演13:00
ロゼシアター小ホール
入場料(全席自由) ■前売 1,500円 ■当日 1,800円
過去の公演
1997年12月 羊の大騒(作・演出 立石光博)ロゼシアター小ホール
2000年11月 母の来訪(作・演出 立石光博)ロゼシアター小ホール
2001年 9月 インソップ・インソップ(作・演出 立石光博)ロゼシアター小ホール
2002年11月 プリザード ミュージック(作・演出 立石光博)ロゼシアター小ホール
2003年 8月 羊の大騒(作・演出 立石光博)富士市民センター

た色が出てしまふんです。自由空間劇場では脚本を書きたい人がいれば書いてもらって、演出をやりたいという人が任せたいなと思つています。自分自身はそれのためのプロデューサーであつてもいいかなと思つています。劇団制にこだわらず、舞台づくりを志す人が集まって他では出来ない芝居を作りたいですね。

●ありがとうございます。

Audience Voice



静岡市 清水茂野島在住
伴野 静則さん、加代子さん

落語はテレビで見ただけですが、寄席というのは初めてで、ましてや怪談なので聞いてみたいと思って来たんですけど、思った以上に迫力があって凄く良かったです。落語も、言葉の巧みさが素晴らしい、話し方に引き込まれてしまいました。食べているシーンなんかは本当に食べているみたいで、こちらまでお腹が空いてしまいました。(笑)



富士市 久沢 在住
勝又 崇さん

初めて寄席に来たんですが、テレビで見るのと違って、やはり生で見るのは良いですね。鶴光さんは、中学生のころからラジオで聴いていた好きだったものだから文句なしです。大変楽しませていただきました。講談も初めてだったんですが、お話しと演出効果が一緒になると雰囲気も出てきますし大変楽しかったです。また来たいです。

真夏の夜の恐怖



と笑いの世界

一龍斎貞水の立体怪談と笑福亭鶴光の上方落語。お盆の最中、13日の金曜日、怖い話、背筋がゾーンとする感じが聞こえてきました。形容しがたいよめきが聞こえてきました。

●ロゼシアターからのお知らせ

ロゼシアター公募展 —Art Generation2005— 新進アーティスト作品展 作品募集!!

応募用紙・受付期間 2004年12月1日(水)~2005年2月13日(日) 必着



前回「優秀賞」受賞作品
白川わかね
「始まりの場所」
ミクストメディア/シルク・染料・
アクリル絵具



前回「佳作」受賞作品
長田佳代「Honey guide(ハニーガイド)」
インスタレーション/木製パネル・アクリル絵具・和紙・
石膏・鉄くぎ・綿糸・雁皮紙

- 展示期間** 2005年3月5日(土)~13日(日) 10:00~19:00 入場無料
※7日(月)休館日
- 場所** ロゼシアター展示室
- 応募資格** 静岡県東部・中部出身者および在住、在学、在勤の18~35歳まで(H16.4.1現在)で、作家を志し、美術を通して自分を表現することに情熱をかけている人
- 応募作品** 平面作品(絵画、版画、写真、レリーフ、CGなどの手法を用いた物)
立体作品(彫刻、オブジェなど)
インスタレーション
- 審査員** 長谷川 栄(東京国立博物館名誉館員、国際美術評論家連盟会員)
長 岡 宏(静岡大学名誉教授)
- 賞** 優秀賞(賞金10万円・賞状・副賞)
佳作(賞金5万円・賞状・副賞)
- 応募方法** 所定の応募用紙(ロゼシアターにあります。ホームページからダウンロードできます。)必要事項を明記し、直接または郵送して下さい。
※応募料はかかりません。
※詳細は下記までお問い合わせください。

主催・お問い合わせ
〒416-0953 富士市藤原町1750番地
(財)富士市文化振興財団「新進アーティスト作品展」係
Tel.0545-60-2512 Fax.0545-60-2505
URL <http://rose-theatre.jp> E-mail info@rose-theatre.jp

おかげさまで
500万人!!
平成5年11月1日にオープンしたロゼシアター。開館11年目を経過した平成16年10月、遂に来館者500万人を達成いたしました。これからもロゼシアターを宜しくお願いたします。

500万人達成までの道のり

平成 5年 11月 1日	ロゼシアターオープン
平成 6年 9月 29日	来館者 50万人達成
平成 7年 10月 30日	来館者 100万人達成
平成 10年 2月 5日	来館者 200万人達成
平成 12年 4月 26日	来館者 300万人達成
平成 14年 7月 26日	来館者 400万人達成

クラシック+映画音楽=
クラシネマ!
コンサート
協力:富士クラシック協会

「クラシネマ」というのは、「クラシック」と映画「シネマ」をかけた造語です。このコンサートでは、クラシック、そして映画音楽を、勿論オーパー・サタからプログラムを演出。思い出の名曲、ヒット作から生まれた名曲。また映画で登場するクラシックの有名曲など、一同にご紹介します。

クラシネマ!コンサートで演奏してほしい曲、聴いてみたい曲を募集します。ハガキに曲目、その曲にまつわるコメント、お名前、ご住所をご記入いただき、下記の宛先までご応募ください。(応募締切:11月末日)
ご応募いただいた方の中から、**抽選で5組10名の方**を、このコンサートにご招待します。

〒416-0953 富士市藤原1750番地 富士ロゼシアター「クラシネマ!」係

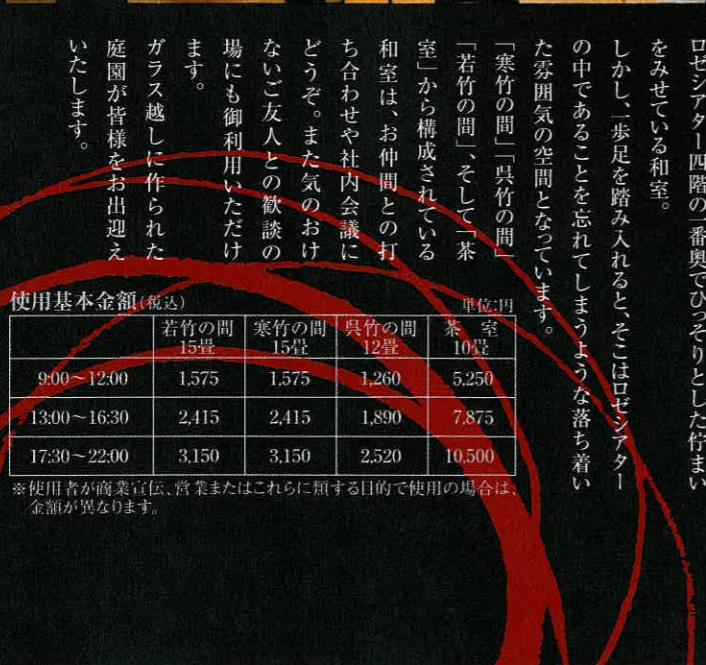
2005.2.11
開演18:00 開演18:30 小ホール
入場料(全席自由) 1,000円(ドリンク券別)
チケット発売日 ロゼ会員:一般共
2004.11.20 9:00~

リクエスト募集!!

襖障子

に、心を静め

「和室」



使用基本金額(税込)

	若竹の間 15畳	寒竹の間 15畳	呉竹の間 12畳	茶室 10畳
9:00~12:00	1,575	1,575	1,260	5,250
13:00~16:30	2,415	2,415	1,890	7,875
17:30~22:00	3,150	3,150	2,520	10,500

※使用者が商業宣伝、営業またはこれらに類する目的で使用の場合は、金額が異なります。

編集後記

どんぐりを拾う。クヌギのどんぐりは、ずんぐりと丸い。マテシイはロケット型。小さい秋たちは、みな愛嬌があり個性だ。宮沢賢治の童話「どんぐりと山猫」を思い出す。誰が一番偉いか争うとどんぐりたちの騒動を、人間の子供、二郎が収める。風刺的効いた素朴なファンタジーが小気味いい。読書の秋。たまには童話を楽しもうか。(編集担当O)

最近、笑うことが老化ストレス防止に役立つと医学的にも証明されている。糖尿病患者に落語を聞かせたら血糖値が下がったとか。園芸療法、音楽療法につづきお笑い療法とでもいうのだろうか。ストレス多き時代、ロゼで音楽と落語はいかがですか。身も心もすっきりすること間違いありません。ご来館お待ちしております。(らふらんす)

若いアーティスト達の斬新な作品を公募する「新進アーティスト作品展」も今回で3回目。毎回どんな作品が集まるか楽しみですが、実は私にとってそれ以上に楽しみなのは、それぞれ個性的で独特な雰囲気を出している「アーティスト本人」なのです。果たして今回の「優秀賞」受賞者は、賞金10万円を何に使うのでしょうか。(HIROMI)

正直な話、この仕事に就くまでは、劇場で芝居を観た事は一回しかなかった。今は、映画館で映画を観るよりも、劇場で芝居を見る方が圧倒的に多い。最初はただ漠然とステージだけを見ていたのだが、最近は客席の作りだとか、他のお客さんの反応だとかばかりを見ていて本編の内容を覚えてなかったりする。これも一種の職業病か。(編集担当Y)

